



# きずな

## 1部Bブロック

スーパーリーグBブロックは、上江別Jr.FC、石狩FC U-12、FC DENOVA、AGGRE U-12、西園サッカー少年団、北海道コンサドーレ札幌 U-12WEST、JSN、クラブフィールズ U-12 の8チームで戦いました。各チームそれぞれがチームの特長や持ち味を発揮して、1試合1試合が見ごたえのあるリーグ戦となりました。

優勝は北海道コンサドーレ札幌U-12WEST(写真)。選手各々の個人技術・身体能力が高く、組織としても非常に質の高いゲームを展開していました。



また、リーグ最多の51得点をたたき出した攻撃陣は素晴らしいクオリティーでした。来年も素晴らしい活躍が期待されるチームでした。惜しくも準優勝となったAGGRE U-12は、リーグ進行中の最中にロバパンカップ全道大会を優勝しチームとしても完成度が高いチームでした。DFとFWで強烈な個の力もあり守備でもリーグ最少の5失点で、高い守備力を発揮しました。

リーグ戦は日程・時間が前後した部分もありましたが、江別美原グラウンドを中心に素晴らしい環境でリーグ戦を行うことが出来ました。また、各チーム指導者・選手が会場設営・撤収を積極的にお手伝い頂き、リーグ運営を円滑に行うことが出来ました。至らない点も多々あったかと思いますが、このリーグ戦に関わっていただいた全ての皆様、この場をお借りして感謝申し上げます。本当にありがとうございました。



# 5部Oブロック

5部リーグOブロックは、厚別北、FC当別、SSSサクセスB、札幌美園、FCコラージュ、八軒、琴似、大麻ジュニアFCの8チームリーグで行われました。



Oブロックでは、8チームを午前と午後に入れ替えで行い、審判は大変でしたがチームの負担を軽減しました。

試合はリーグ戦初戦から中盤戦にかけて各チーム接戦が続き、拮抗した試合が多くなりました。

リーグ戦は全日少への出場権がかかっているため、勝利が第一の目標になります。でも、このリーグでは登録選手全員が出場し全力でプレーすることにより、選手一人一人のスキルアップをはかり、長いリーグ戦を戦いながらチーム力を上げ、選手の信頼関係を築くことも大切です。どのチームも試合が進むごとに技術が高まり、それに伴ってサイドを使ったりドリブルで仕掛けたり壁パスを使ったりしながら局面を打開するなど、サッカーらしい試合も多くなりました。選手同士のサポートや女子選手の活躍、キャプテンを中心にまとまっているチームもありました

結果は、最終節までもつれ込み、FCコラージュとSSSサクセスBが接戦を繰り広げ、FCコラージュが勝ち点1の差で優勝しました。

準優勝のSSSサクセスBは、前半・後半とメンバーを変えて試合に臨み、リーグ得点1位、最少失点と攻撃堅守が素晴らしいチームでしたが、勝ち点1の差で涙をのみました。

優勝したFCコラージュは、全体のバランスが良くDFから組み立て、シュートの正確さが素晴らしいチームでした。SSSサクセスBチームに2敗をしましたが、リーグ戦全体で勝数を1勝上回り、また引分数1と勝ち点差で優勝しました。

この度のOブロック全チームについては、ピッチに立つ選手はもちろん、ベンチ、応援する側の一体感が感じられました。



また、審判については、4級審判員の方々が積極的に審判を行い、リーグ戦で実践を重ねることが出来、審判のスキルアップにもつながりました。最後に会場を提供していただいた、各チーム関係者の準備に感謝申し上げます。会場でのトラブルもなくマナーも良かったです。